

ダイジュアル版

看護師の歴史

Celebrating Nurses — A Visual History

著者 クリスティン・ハルツ博士 / 監修 中村哲也 / 訳 小林政子



◆カラーを含む貴重な写真や挿絵が約200枚！
◆第1次世界大戦、朝鮮戦争、ベトナム戦争、中東戦争などの戦場での看護師や、都市での感染症や貧困に立ち向かった訪問看護師など多くのエピソードを収録。

写真と挿絵でたどる看護と看護師の軌跡

古代に生まれ、発展してきた看護師の歴史を、写真や挿絵、手紙、証言をふんだんに盛り込み、分かりやすく解説する画期的ダイジュアルブック。看護師たちの傑出した活動や、無名ながら職分に尽くした足跡を紹介しつつ、その現状を説明する。誇り高く重責ある看護師という職業を歴史的観点から語る、目で見る看護史。

推薦の言葉

「職業として始まる以前から看護は人々を癒やし、助ける過程で豊かな経験知を蓄積してきたこと。世界中で、その時代の人々の有用な社会機能として発展してきた仕事の価値と誇り。決して平坦ではなかった道を切り拓いた先人たちの思想と足どり。そして、現代高度医療のあらゆる局面での新しい看護と、自然の回復過程を整える基本的な看護を調和させながら歩む看護師たちの姿。

**歴史を学ぶことは
未来への展望に通じることを実感できます。」**

日本赤十字看護大学名誉教授 川嶋みどり



①



③

④



④



⑤



⑥



⑦

① スクラリの病室の写生画。伝統的なナイチンゲール像。ランプを手に毎夜患者を見回したことから「ランプを持つ娘女」として有名になった。

② 「エルサレムの聖ヨハネ勲爵士団」が運営する病院。患者を看護する騎士たち。

③ イズラ・スチュアート「実践看護」

④ 看護師の帽子のいろいろ

本書の概要と構成

第1章 【起源】

古代文明、ギリシア・ローマ時代から中世、近世まで「病人や怪我人を癒す手当する＝看護」の歴史を辿り、キリスト教の看護への影響をみる。

第2章 【19世紀】

ヨーロッパの戦火の中、ナイチンゲールが及ぼした人道主義的影響と、看護の近代化への歩み。〈訪問看護、外科看護、看護学校の設立、資格認定制度への運動、僻地医療、麻酔の登場など〉

第3章 【20世紀】

医療の劇的な進歩による看護の変化と新たな課題。〈看護業務の独立、マラリアとの戦い、赤十字活動、看護理論の発展と看護学の樹立、世界大戦と看護、災害看護、看護師のイメージの変遷、ホスピスなど〉

第4章 【これからの看護】

役割の拡大と、新しい専門性を持つ看護師の可能性について語る。

著者 クリスティン・ハレット博士

認定看護師、イギリスのマンチェスター大学看護産科学史研究所長。
王立医学協会および王立芸術協会の特別会員

監修 中村哲也

1991年、板橋中央総合病院院長就任。2006年、関東・東北・北海道に複数の医療法人を有するJMSグループの理事長に就任。2007年、板橋中央総合病院総院長就任。現職として、アジア慢性医療協会理事長、全国公私病院連盟常務理事、板橋中央看護専門学校、イムス横浜国際看護専門学校校長などを兼ねる。

訳 小林政子

1972年、明治学院大学英文文学科を中退、外務省入省。リスボン大学にて語学研修。1998年外務省を退職し翻訳を志す。主な訳書『神の火を制御せよ——原爆をつくった人びと』(バートン・バック著、径書房)、『私の見た日本人』(バートン・バック著、国書刊行会)など。

体裁：A4 変型判・上製・192 頁 定価：本体 5800 円＋税

ISBN978-4-336-05798-3



国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15
TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427

http://www.kokusho.co.jp
sales@kokusho.co.jp

書店印

国書刊行会

〒174-0056 東京都板橋区志村 1-13-15 TEL.03-5970-7421 FAX.03-5970-7427

ヴァージュアル版

看護師の歴史

定価：本体 5800 円＋税 ISBN978-4-336-05798-3

注文数

備考

看護師とは何か

その一つは医学的技術を受け入れることだった。もう一つは、病院に職がある時代にあって、戦時で医療的役割を果たすことだった。さらに、社会で認められる地位を得るために、看護する少数の専門家を生み出すことだった。19世紀には看護業務は部分化しない限り大きくならないように見えた。

注：
スコットランドの「エディンバラ王立病院」のスタッフ。19世紀末か20世紀初頭。



「病人が身体を洗ってもらおうと気持ちよく、安心感が得られるということは病床で最も多く目にする事実です……実際に、重苦しい気分を取り除くことで生命力が安らぎます。ですから、看護師は患者の身の回りを常に清潔にしておくことを心がけなければなりません。」

フローレンス・ナイチンゲール「看護覚え書 (Notes on Nursing)」(1859—1860年)より抜粋

81

本文組見本 (50%)